## 【住宅宿泊事業法第6条の措置を確認するための追加図面】

	添付図面	明示すべき事項
<b>③</b> 第2-1但	口配置図	□道の位置
		口幅員50cm以上の空地の位置
	□各階平面図	□準耐火構造とした壁の位置
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設け
		る防火設備
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道とのすき
		間を埋めるための材料の種別
		□屋外への出口又は避難上有効なバルコニーの位置
		口各居室から屋外への出口又は避難上有効なバルコ
		ニーまでの歩行距離
		□間仕切壁及び戸の位置
		□戸の仕様(常時閉鎖状態又は火災により煙が発生
		した場合に自動的に閉鎖するものの種別)
		□自動火災報知機設備又は防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の位置
	 □断面図	□準耐火構造とした壁の位置
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設け
		る防火設備
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道とのすき
		間を埋めるための材料の種別
	□耐火構造等の構造詳細図	口準耐火構造とした壁の構造、材料の種別及び寸法
		(口準耐火構造の壁の構造を認定を受けたものとする
		場合には、認定書の写し) 口防火設備の構造、材料の種別及び寸法
	 □室内仕上げ表	□ 防久設備の構造、材料の種別及び引送 □ 主たる廊下その他の通路の壁及び天井の仕上の材
		料の種別及び厚さ
	I	
3	□各階平面図	口準耐火構造とした壁の位置
第2-1-イ		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設け
第2-1-口 共通		る防火設備
六进		  □準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道とのすき
		間を埋めるための材料の種別
	□断面図	口準耐火構造とした壁の位置
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設け
		る防火設備
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道と防火
	ロサル排件なる排件学の図	設備とのすき間を埋めるための材料の種別
	口耐火構造等の構造詳細図	□準耐火構造とした壁の構造、材料の種別及び寸法 (□準耐火構造の壁の構造を認定を受けたものとする
		場合には、認定書の写し)
		□防火設備の構造、材料の種別及び寸法
	I	
3	□各階平面図	口自動スプリンクラー設備等消火設備の配置
第2-1-口	ロスプリンクラー設備等の構	□ 自動スプリンクラー設備等の構造
	造詳細図 添付図面	明示すべき事項
<b>⑤</b>	□耐火構造等の構造詳細図	
<b>9</b> 第2−2−イ		□主要構造部及び防火設備の断面の構造、材料の種
カッコ書き		別及び寸法
-		
6	□各階平面図	口階段の配置及び構造
第2-2-イ但		口步行距離
Ī	□2面以上の断面図	□直通階段の構造

8	□各階平面図	□開口部及び防火設備の位置
第2-2-口(1)		□耐力壁及び非耐力壁の位置
		□外壁、袖壁、塀その他これらに類するものの位置及
		び高さ
		口延焼のおそれのある部分の外壁の位置及び構造
	口耐火構造等の構造詳細図	口主要構造部及び防火設備の断面の構造、材料の種 別及び寸法
	 (□法109条の2の2に規定する	
	特定避難時間倒壊等防止建	(口層間変位の計算に用いる地震力)
	築物にあっては、層間変形角	(□地震力によって各階に生ずる水平方向の層間変位
	計算書)	
	(□法27条1項の規定に適合	(□各階及び各方向の層間変形角の算出方法)
		(口法27条1項に規定する構造方法への適合性審査に 必要な事項)
9	□各階平面図	□開口部及び防火設備の位置
第2-2-口(2)	口耐火構造等の構造詳細図	口主要構造部及び防火設備の断面の構造、材料の種
	□室内仕上げ表	別及び寸法 □壁及び天井の仕上の材料の種別及び厚さ
		□主たる廊下、階段その他の通路の壁及び天井の仕
		上の材料の種別及び厚さ
40	I	
12	□各階平面図	□廊下の幅
第2-2-ハ(2)		
14)	□各階平面図	□準耐火構造とした壁の位置
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設け
第2-2-二但		る防火設備
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道とのすき
		間を埋めるための材料の種別
		□延焼のおそれのある部分の外壁の位置及び構造
	□断面図	口準耐火構造とした壁の位置
		□準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設け る防火設備
		る的人設備 □準耐火構造とした壁を貫通する管及び風道と防火
		設備とのすき間を埋めるための材料の種別
	□耐火構造等の構造詳細図	□準耐火構造とした壁の構造、材料の種別及び寸法
		(口準耐火構造の壁の構造を認定を受けたものとする
		場合には、認定書の写し)
		口防火設備の構造、材料の種別及び寸法
16	□各階平面図	□警報設備の位置
第2-2-ホ		
カッコ書き		口間仕切壁及び戸の位置
		□戸の仕様(遮煙性能を有し、かつ、常時閉鎖状態又
		は火災により煙が発生した場合に自動的に閉鎖するも
		のの種別)
	□断面図 □警報設備の構造詳細図	□警報設備の位置 □警報設備の構造
	山言報設備の構造計構区	口言報設備の悟足
1	□各階平面図	口耐火構造とした壁の位置
第2-2-ホ但		□耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設ける
312 2 AVE		防火設備
		口耐火構造とした壁を貫通する管及び風道とのすき間
		を埋めるための材料の種別 □延焼のおそれのある部分の外壁の位置及び構造
	 □断面図	□延焼のあてれのある部分の外壁の位直及の構造 □耐火構造とした壁の位置
		□耐火構造とした壁を貫通する管及び風道に設ける
		防火設備
		□耐火構造とした壁を貫通する管及び風道とのすき間
		を埋めるための材料の種別
	□耐火構造等の構造詳細図	口耐火構造とした壁の構造、材料の種別及び寸法
Ī		
		(□耐火構造の壁の構造を認定を受けたものとする場合には、認定書の写し)